

福商会報

FUKUSYO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所/社団法人 福商会 発行責任者/前田 福一 福岡市中央区大名1-12-57

TEL : 092-711-9890 FAX : 092-711-9266

Eメール:info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.144

(2006年1月発行)

飛翔

鶴とびゆくいま暁天の明の部分

鶴来る暁けの光の早さの中

日の丸の赤を頭に乘せ鶴の群

「自鳴鐘」同人 大山安太郎(30回生)

写真提供

題名「道東の朝」(福岡市美術展奨励賞受賞作品)

福岡市美術連盟会員 山口 聳氏(49回生)



年頭のご挨拶

理事長 山口 毅



あけましておめでとうございます。
夢溢れる新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

長期低迷を続けておりました日本経済も、一部の企業業績の回復を機に、全般的な景気回復感が囁かれており、実質的な活性化となりますよう、大いに期待を膨らませております。経済予測値の一つである株価も15,000円台と回復基調にあり、取扱額もバブル期を超える額だと報じられています。外的要因を追い風として、大いに翔びたいものです。

社団法人福商会も、同窓生皆様の福商会对する熱い思いと友情で、お陰様で活発な運営を続けることができている。会の運営費となる年会費も前年比20%も増え、皆様の強力なご支援や友情に改めて感謝申し上げます。

母校福翔高校も、教育現場の工夫や改善を手がけられ、昨年4月からは一年生の学力向上を願って特別クラスの編成や早朝の補習授業を実施され、教職員の熱心な取り組みと生徒たちの向学心が、顕著な成果を生み出しています。只、生徒や保護者の授業内容に対する要望は高く、指導教師のみでは対応できる状況にありません。そこで福商會に学校特別委員会を設置し、教育委員会や保護者あるいは教育現場の方々とも目線をひとつにして、後方支援について協議を行いたいと考えております。社会に夢を抱き、社会が求めるものを

知り、自らが翔ける環境をつくりたいと思うのです。

特にスポーツ関係では高校生が世界の舞台で中心的に活躍する場が増えており、英才で専門的指導が望まれているようです。福翔高校生が夫々の分野で活躍されることを期待したいものです。

最近、進学教育も全国的にレベルアップし、指導力が成否を分けるころまで来ております。私立高校では、その授業環境を充実するためにサテライト教育(全国を網羅した受験教育)を取り入れるところが多くなりました。この新規カリキュラムを母校が導入することを検討しており、学生達の向学心や大学進学の可能性を大きく膨らませることにしたいと思います。

福商の公立高校では、まだ実施されておりませんが、このサテライト教育制度を是非推進していただきたいと思います。このため福商會でも理事会に諮り、導入費用の一部を支援させていただき、生徒の学力向上のバックアップができればと思っております。

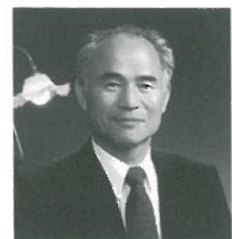
IT時代における情報システムや人材交流が非常にスピードで進展しております。明日の社会を担う人材を育成すべく、戻らない青春の夢を後輩に託して母校福翔高校の大いなる隆盛を祈念するものです。

最後になりましたが同窓生皆様のご健勝で活躍を祈念しまして新年の挨拶といたします。



平成の福翔改革はセカンドステージへ

福翔高校校長 段 裕明



新年明けましておめでとうございます。
福商會の皆様には、すばらしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、母校並びに後輩に対し、一方ならぬご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、本校は総合学科高校として6回目の新しい年を迎えております。

新年に当たり、福翔生一人一人の願いや要望、並びに保護者・市民の負託に確かに応える福翔高校となるよう、更なる改革・改善を進めて参りたいと意を新たにしております。

その内容としましては、第一は、昨年度の卒業生の進学状況の中で、西南大22名、福岡大94名、筑紫女学園大18名、等々でありました私立四年制大学の合格者を増加させるというものです。第二は、福教大1名、佐賀大5名、山口大1名等、計10名に終わりました国立大学の受験に対応出来るようにします。この第一、第二を達成するために、二年次から国立理系とか私立文系とかの大学進学コースを設定し、選択させることを考えています。

第三は、高卒者の就職難にもかかわらず、就職希望の44名は、皆様の温かいご支援によりまして、3月当初には全員内定という

たいへん喜ばしい状況でありましたが、この就職希望者へ早期から対応するというものです。そのために、一年次において、進学コースが就職コースのどちらかを選択させます。

また、入試制度に関しましては、推薦入試により入学した生徒は本校の牽引力として各分野のリーダーとなっており、推薦枠を30パーセントから40パーセントに拡大し、より一層、本校の活性化を図る所存です。

平成12年に総合学科へ改編して以来の「平成の福翔改革」を、この間の学校の有り様を踏まえ、より確かな改革へ邁進する「セカンドステージ」へ入る年と確信し、新たな決意で、この新年を迎えております。

福商會の皆様には、今後とも、母校並びに後輩に対し、物心両面からのご支援・ご協力くださいますよう、衷心からお願ひ申し上げます。

結びになりますが、福商會の更なる発展、並びに会員の皆様の益々のご活躍と、健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



郷土福岡への熱い想いを 胸に、更なる前進を

東京支部長 平井哲二郎(41回生)



明けましておめでとうございます。

近年、科学技術の進歩によって文明は急激に変化しましたが、それに人間はついていけず、生きることにはストレスが蓄積されています。「できることはすべてする」主義から「たいせつなことをする。できてもしない」という生き方への哲学へと改めることが求められています。なぜなら、人間は科学によって生み出されたものではなく、あくまで、自然に抱かれた生物だからです。東京支部の会員も四分の三世紀もの長期に在籍される方、又は昨年進学、就職された若き10名の上京者、合せて約800余名の同窓生の方々がおります。その中で、支部同窓会として纏めて行くことは、並大抵なことでは出来ないことを痛感しております。

各学年に世話人を一、二名指名し、世話人会を組織して、一年に一度会合、支部同窓会の運営について懇談する場としています。同窓会開催日は、毎年6月第二土曜日としておりますが、昨年などはその翌日が本部福岡大会となり、10数名の方が、支部会に欠席となりました。本年は64回生が担当して支部同窓会を盛り上げることにあります。

2月には役員会、世話人会合同の準備会、その後を担当卒業生が同窓会迄、数度の会合を持ち計画いたします。100名の参集を目標としております。

一昨年から、東京福岡県人会とタイアップして、ウオーキングの会、カラオケ同好会等の案内もしております。ウオーキング会は、今や10数名の方が登録、全参加者の一割を越す参加者です。11月の箱根旧街道、箱根湯本から芦ノ湖までの9キロ、上り坂、石畳を福商OBから3家族6名参加、湖の近くのホテルで一泊。翌、箱根観光を下り山。楽しい二日間でした。今後、囲碁の会、異業種交流会等も案内したく存じます。また、支部機関紙の要望があります。年に一、二度の発行が出来ればと存じておりますが、これにはスタッフが必要で、お手伝いできる方の募集をしています。

郷土福岡への想い、青春を培った、熱意、力。今も衰えることなく生き続けています。人間の生命を大切にし、誰もが希望を持って生きていくことができるよう、同窓生が共に歩んだ百年であったと思っております。この伝統を継承し、さらに発展させるために、東京支部も一歩、一歩進展していくようお願いいたします。



新しい京阪神支部を 創造する年にしたい

京阪神支部長 倉成 敬造(33回生)



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方にはお健やかに新春を迎えられた事とお慶び申し上げます。

昨年は地震、津波、台風、集中豪雨等の天変地異、又世界各地に発生するテロによる人災等、世界的に不安定な日々が続きました。今年はこの様な異変のない平穏な日々が続くことを願っております。さて、京阪神支部の創立は、戦後間もなく世相もどうやら落ち着いてきた昭和30年頃、石井公代氏(20回生、昭和4年から約6年間母校の教壇に立ち、商業科目を教えられた。その後、満州へ今の中国東北地方への会社に勤務。戦後引き上げてきて、大阪勤務)が京阪神支部の結成に努力され、支部を立ち上げました。その後、逝去されるまで約40年間支部長として支部の基礎を築かれました。石井氏の後、第2代支部長として平成7年に古森敬造氏(34回生)、平成14年に第3代支部長として私が引き継ぎ現在に至っております。

支部長就任後最初に実施したのは、「福商会京阪神支部会則」の作成でした。役員を新しく選出し、事務、経理、監査各一名、顧問2名(内女性1名)計6名で運営を行うことを決定しました。連絡を密にして、

会員相互の親睦と融和を図り、併せて母校の発展を支援する事を支部の基本方針としました。また、役員任期を3年とする。但し再選は妨げないの会則により、第2期(平成17年11月より)役員全員は引き続き、支部の充実に努めるつもりです。ただ過去3年の同窓会の出席者は20数名から30名前後と把握出来る約300名からみて余りにも僅少です。昨年11月12日の京阪神支部同窓会の出席者33名のうち、初参加者が10名と大変嬉しい内容となりました。今後参加者の増加を図る手段として(1)大阪府、京都府、兵庫県、奈良県在住の同窓生の把握に務める。(2)判明した同窓生総てに案内状を出す。(3)同窓会の欠席者には同窓会出席者の名簿と全員を撮った写真を送る。(4)次回の支部同窓会の開催月日を通知し、参加を促すことを推進し、初参加者の増加を図るよう努力をしたいと思っております。

また、昨年にかけて本部より多額の活動資金を戴き感謝をしています。活動資金の具体的な使途は今後検討して有効に活用するよう努めます。3年余り暗中模索して現在に至りましたが、支部が活性化されることを胸に抱いて、次の新進気鋭の人に譲るまで努力したいと思っております。

理事会報告

第4回理事会開催

副理事長に
後藤幹生氏(55回生)を指名



第4回の理事会が10月13日に福商會館で開催されました。理事36名、オブザーバーとして福翔高校宇土健治教頭(66回生)にも出席していただきました。山口毅理事長の挨拶に続き、議長に山口理事長、議事録署名人には礪山嘉郎(51回生)、廣田昭俊(60回生)の両理事を指名し、2議案について審議を行いました。尚、松尾嘉助副理事長(43回生)が今理事会をもつて退任されることから、退任の挨拶がありました。

第一号議案 副理事長選任に関する件

山口理事長及び前田専務理事から常任理事会の決定を踏まえ、副理事長候補として後藤幹生氏を推挙したい旨説明があり、理事全員の承認を得ました。

第二号議案

福商会報のCD化による保存について

昭和27年に福商會が設立された翌年に福商通信第一号が発行され、現在では143号を数えるに至っています。当時の状況や活動記録として貴重な資料でもあります。紙面の劣化が激しいことが

ら長期保存のためにも、CD化による保存を行いたいと前田専務より説明があり、全会一致で承認を得ました。

■ 検討事項

- 1 母校へのティンパニー(楽器購入援助について 母校の吹奏楽部から楽器購入(ティンパニー)の援助要請があつており、当会もバックアップとして、来春に福商會員を対象とした演奏会を開き、募金活動を行うことについて確認をしました。

■ 報告事項

- 1 平成17年度上期収支状況(4月～9月)について 中牟田元理事長「感謝の会」参加者数について
- 2 第3回縦の糸の会開催について
- 3 年会費回生別納入状況(4月～9月)について 會員皆様のご協力により会費納入者は増加傾向にあります。これからもご協力のほど宜しくお願いいたします。
- 5 母校の現況について 宇土教頭から現在進めている学校改革や部活動の現状について詳しく説明がありました。このことに関しては福商会報の「学園から」の欄で随時報告していきます。

また、楽器購入支援についても協力依頼がありました。

略歴

- 昭和32年3月……………福岡商業卒業
- 昭和33年～平成5年5月……………大野城市役所職員
- 平成5年6月……………大野城市長選立候補
- 平成5年9月……………大野城市長選就任
- 平成17年9月……………3期12年任期満了により退任

第3回「福商縦の糸の会」開催のご案内
日時 平成18年2月10日(金)

● 第一部 講演会 午後6～7時

「私の議員活動報告」講師 福岡市議會議員 石川浩二朗氏(60回生)
「市議会よもやま話」講師 福岡市議會議員 南原 茂氏(61回生)

● 第二部 懇親会 午後7～9時

会場 八仙閣

住所 福岡市博多区博多駅東2丁目7-7

TEL 092-4111-4141

会費 6,000円(80回生まで)・4,000円(81回生以降)
出席予定者 2000名

お問い合わせは福商会事務局まで TEL 092-711-9890

CONTENTS



年頭所感	2
理事会報告	4
ピックアップ	5
中牟田喜一郎氏感謝の会	6
黄綬褒章受章記念祝賀会	7
剣道部創部百周年記念行事	8
同窓会報告	9
学園から	12
FNFAイベント報告	13
プレイバック	14
恩師シリーズ	15
同舟往来	16
OBトピックス	17
随想	18
福商の歴史	19
会費納入者一覧	20
企業紹介	22

PICK UP

平成17年度第二回三者懇談会
～母校の発展に向けて～

教育課程の改革について意見交換

10月7日福翔高校において第2回の三者懇談会が開かれました。福商会から山口毅理事長他5名、学校から段裕明校長他5名、保護者からは稲田毅PTA会長他4名、合計17名が出席しました。

意見交換内容として

1 進路保障のための教育課程編成について

① 平成17年度1年次クラス編成変更の状況について
本年度よりクラス編成変更を行っており、特別進学クラス2組(80名)、就職クラス1組(20名)を設けている。生徒同士の競争意識が芽生えるなど効果もでている。

② 平成18年度以降の教育課程の改善について

9月23日に開かれた体験入学は1100名(昨年920名)の参加があり、中学校側も母校に対する期待が高まっている。そのなかで18年度は推薦入学校を40%(昨年30%)に増やし特色ある学校づくりを目指す。

2 部活動強化のための具体的方策について

生徒の部活動加入率は体育部・文

化部合わせて54%が入部している。しかし、体育部は20年前に比べやや増加傾向にあるが、文化部は半減しており問題意識を持っている。部活動強化のためには、是非ともOBの協力をお願いしたい。

3 施設、設備の改善について

長年の検討課題であった空調機の設置については、保護者会による負担で等活発な意見交換が行われました。



体育部OB会、学校顧問懇談会

部活動強化について意見交わす

8月23日、福商会館において、母校の野球部、ソフトボール部、バスケットボール部、サッカー部、バレーボール部、ソフトテニス部、剣道部、柔道部の8体育部の顧問の先生方と各OB会会長らが出席し「部活動強化のための課題やこれからの取り組みについて」意見交換を行いました。最近の体育部の現状は、個人の選手では全国大会で優勝するなど活躍する生徒も出ていますが、団体スポーツでは県大会、全国大会への出場が今一歩及ばず、日頃の努力の成果が報われていません。我々OBとしても何とか母校の発展のため、バックアップできないものかと思ひ、このような懇談会を実施しました。

OB会、学校共に共通した課題、要望として

1 選手リクルートの確保

私学との競争の中で、優秀な生徒を入学させることが厳しくなっている

2 コーチングスタッフの強化

指導者の若返りの必要から若い優秀なコーチが必要

3 学校行事の共有化

各体育部の試合日程などを学校、OB会、福商会が共有し応援などに積極的に参加してほしい

これらの解決にむけて、三者で協力したい、今以上に活躍できるような環境をつくりたいことを確認しました。

福岡市立高校の活性化について代表質問

～南原茂介市議員、福岡市議会において～

9月14日の福岡市議会において、南原議員は少子化が進むなか、全国的には高等学校の活性化に向け、特色ある学校づくりや、高校教育の個性化、多様化への対応などについて改善を図っており、福岡市の市立高校への活性化取り組みについて質問を行いました。他市で成果を上げている事例や母校、福翔高校の総合学科改編などを取り上げ「教職員の指導力向上」や「魅力ある学校にするために学校力を高める」ことの必要性について熱く訴えていました。

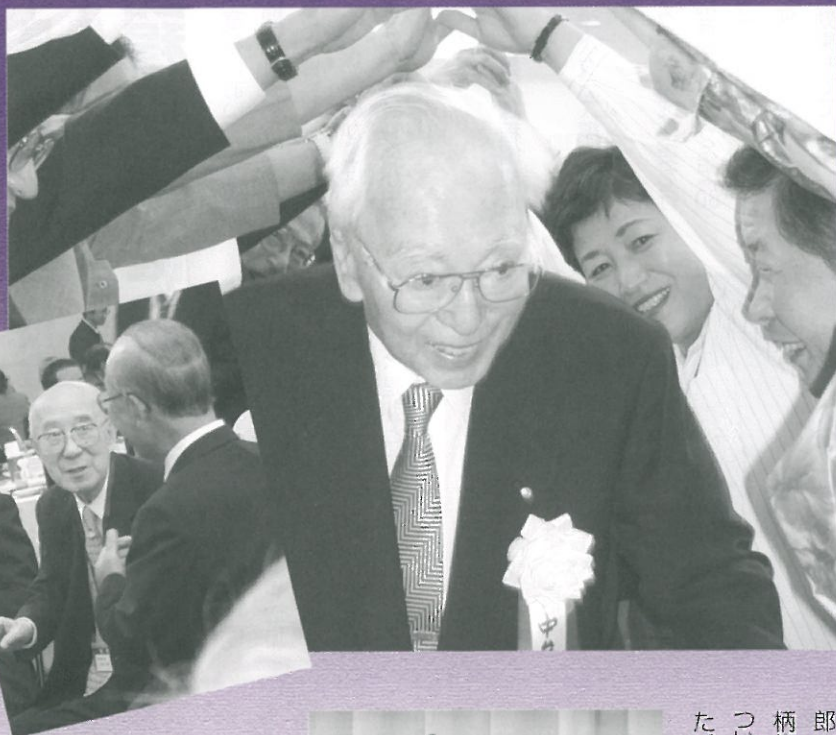
奨学育英基金に寄付

平成17年度合同同窓大会当番幹事

11月8日、今年の全国合同同窓大会の実行委員長を務めた山田忠義理事(80回生)が来館されました。同窓大会の剰余金を奨学育英基金にと、80回生を代表して持参されました。80回生の皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。



中牟田氏(元 福商会理事長)の 「永年のご功績に感謝する会」開く



▲ 歓談の大山相談役
全員で校歌斉唱



▲ 中牟田元理事長の挨拶



▲ 後藤相談役の乾杯

10月23日、元福商会理事長中牟田喜一郎氏(30回生)の「永年のご功績に感謝する会」が、180人を超える福商会員が集い、八仙閣で盛大に開催されました。

山口毅理事長から「中牟田先輩は昭和55年から平成15年の23年間の長きに亘って理事長を務められ、福商会の発展のためご尽力いただき、大きな功績を残されました。福商会を代表し、心から感謝を申し上げます。また、今年卒寿(90歳)を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます」との挨拶がありました。

続いて友人代表として同期の大山安太郎(30回生)相談役から中牟田先輩のお人柄やこれまでの経歴、趣味、スポーツなどについて、長年の友情溢れる挨拶がありました。福商会から記念品の贈呈、また、会に出



▲ 古田先輩(42回生)の博多仁和加

席され、今年卒寿をむかえられる4人の先輩方にもお祝い品をお渡ししました。荒井昌夫(38回生)筑後支部長の祝吟の後、後藤豊彦(45回生)相談役の発声による乾杯に続き、古田鷹治(42回生)箱崎支部長の博多にわがでの軽妙な話芸に会は大いに盛り上がりました。

全員による校歌斉唱、博多祝い歌、博多手一本を行い、10月に就任した後藤幹生(55回生)副理事長から閉会の挨拶があり会を終えました。

中牟田喜一郎氏「永年のご功績に感謝する会」



▲ 山本先輩(30回生)を囲んでの記念写真

◀ 博多祝い目度度を唄う山口理事長、中牟田相談役

山口理事長の

黄綬褒章受章記念パーティー

平成17年10月22日(土)、午後1時、日航ホテルで開催されました。

前号で紹介しましたように、山口理事長の今回の受章は飲食料品卸業界の発展に多大な貢献が認められての事でありますが、我々同窓会としても理事長の受章は大変誇りに思うと同時に嬉しく思う慶事でありました。

会場には食品関連の方々は勿論、福商同窓生も約30名近くが参加しておりました。会は各界の来賓の方々のお祝いの後、祝宴となりました。

理事長は挨拶の中で、福商の大先輩の故出光佐三氏より大きな影響を受け、そ

の薫陶を大切にして今日迄頑張ってきた結果が今回の受章に結びついたとの話が大変印象深く感じました。

会場は多数

の参加者の交

流の輪が出来、

大変賑やかな

雰囲気で終始し、

午後4時頃終

宴となりました。



福商同窓生との記念写真

栄えある受章者

秋の受勲の受賞者が福商会員から選ばれました。長年のご功績に敬意を表し、心からお慶び申し上げます。

旭日双光章

藤野 守弘氏(44回生)

大分県興行生活衛生同業組合理事長



山崎福岡市長のご祝辞

東京支部

福岡県西方沖地震被災者へ義援金贈る

6月11日に開かれた東京支部同窓会において、福岡県西方沖地震の義援金が募られ送金がありました。9月13日に福岡市役所防災課を訪れ義援金を渡しました。東京支部の皆様は郷土を想われるご厚情に感謝申し上げます。

【福岡県西方沖地震お見舞いに寄せて】

7月23日(土)福岡に縁の方々と中央線「お茶の水」駅より荒川沿いに浅草橋へと例月の(つづら会)東京福岡県人会に参加、この日は特に福岡関係者13名の参加を得て(総勢70名余)の歩こう会でした。浅草では、このつづら会の会長をされている福岡出身のアサヒビール(株)代表取締役会長 福地茂雄氏のお世話で本社ビル最上階の迎賓室での昼食会となりました。美味しいビールを飲みました。

のようです。只、交通機関のみが全て麻痺したようでした。
思えば、3月20日の正午前の福岡での地震は、地殻は割れ、家の倒壊、特に玄界島の被害は目を覆うものでした。6月12日に所用で福岡を訪ね、被害にあった地域を回り、この時、地上におられた方々の心情は想像を絶するものではと感じました。

1日も早く精神的にも癒されんことを願ってやみません。そして早くの復旧を願うものです。私たち、在京の者たちも故郷を離れておりまして、思いは一つです。

去る6月11日(土)福商会東京支部の同窓会において上記の思いを語り、会場において義援金を募りました。僅かな金額ですが、故郷を離れた在京の者達の心として、ご用のため、役立つならば幸いです。

2005年8月10日

福商会 東京支部 同窓会
支部長 平井哲三郎(41回生)
事務局長 片山 紀雄(59回生)

福翔(旧福商)剣道部創部百周年記念 記念式典及び中学校剣道大会開催

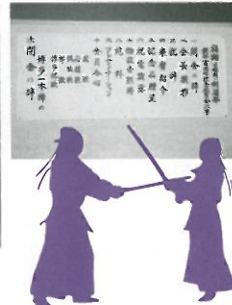


平成17年10月29日(土)に剣道部創部百周年を記念して
記念式典と中学校剣道大会が開催されました。

記念式典

記念式典は、夕刻から八仙閣において約290人の方々のご参加をいただき、盛大に開催されました。

植木福岡市教育長、藤田福岡県議会議長、福商会 山口理事長をはじめ20名の来賓の方々にご列席していただき、剣道部OB270人が出席し剣道部百周年に纏わる話を中心に和やかな雰囲気の中で盛大な式典となりました。今後福商剣友会がより一層、福翔剣道部を支援、応援していく事を誓い式典を終えました。



中学校剣道大会

中学校剣道大会は福翔高校体育館において福岡市及び近郊市町村から51校の中学校が参加し優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。

約327名の選手それに監督、父兄を入れると500名以上の方々が福翔高校に来校され、体育館での熱戦に熱い声援を送りました。この日、福翔高校のある先生曰く、「この体育館に、こんなに人が集まったのは、初めて見た。」と言われるほどの、盛大な記念剣道大会となりました。

その中で、栄えある優勝を勝ち取ったのは、宗像市の河東中学校でした。

- 優勝 宗像市立河東中学校
- 準優勝 春日市立春日西中学校
- 三位 大野城市立大利中学校
- 那珂川町立那珂川中学校



優勝した河東中学校

なお、この記念大会は翌日(10月30日)の西日本新聞朝刊に掲載されました。



少年剣士の熱戦に声援がとぶ

最後に、中学校記念大会・記念式典に御参加いただきました方々に感謝申し上げますとともに、御協力いただきました関係者の皆様にこの紙面をお借りして心からお礼申し上げます。

また、福翔剣道部は常に玉竜旗優勝を目指し百五十年、二百年と伝統を引き継いで、頑張つてまいりますので、今まで同様、皆様のご支援で指導の程宜しくお願いたします。

福商剣友会

跡部 宗教(79回生)

京阪神支部同窓会

1月12日(土)大阪市中央区ホテルザル―テルにおいて本部安河内理事、段校長先生のご臨席のもと開催されました。

当日は京阪神在住同窓生の他、東京から片山さん(59回生)が駆けつけて下さり出席者は33名となりました。

倉成支部長の挨拶から始まり、阿部さんから会計報告、奥野さんの監査報告が出席者の拍手をもって承認されました。安河内理事より福商会の動向が力強く語られ、更に段校長先生が母校の活動状況を熱く述べられました。一同、福岡をより身近に感じることができ、嬉しく思います。

本年度も本部より支部支援金として、安河内理事より目録の贈呈があり、感謝致しております。

記念写真撮影後、矢嶋さん(38回生)の乾杯により、いよいよ懇親会となりました。特に今回は初出席者が10名もあり、数十年振りに顔を合わせる人も多く、母校福商に思いを寄せ、お互いの近況等、話の花が咲き、京阪神に在住する同窓生としてお互いの絆が一層強くなった感があります。会も盛り上がったところで、逍遙歌の作詞作曲者である高田さん(65回生)のリードにより、校歌、応援歌、凱旋歌、逍遙歌の大合唱となりました。またたく間に楽しい時間も過ぎ、一同、18年度同窓会での元気な再会を念じ閉会しました。(当会は毎年11月第2土曜日が開催日となっております。)

山口 利彦(62回生)記



太宰府支部総会

10月29日(土)太宰府天満宮横の「すし栄」に25人が集い、総会及び懇親会を開催しました。古任敬造支部長(42回生)の挨拶、田代成美さん(35回生)の乾杯で和やかなひとときを過ごしました。新入会員稲永辰夫さん(42回生)、山内貞美さん(45回生)、竹森淳さん(54回生)の参加を頂き、特別参加の田中範隆さん(39回生)、箱崎支部長古田鷹治さん(42回生)も加わって頂き賑々しく会を盛り上げて頂きました。森住勝さん(42回生)の奇術、古田さんの博多にわかで更に盛り上がり猪口真郎さん(37回生)の大締めで、春の観桜会での再会を約して別れました。



角倉 健司(55回生)記

長澤先生「喜寿」お祝い会

今年77歳の「喜寿」のおめでたと金婚式が重なる長澤重嘉(43回生)先生の「喜寿」のお祝い会が、大安吉日にあたる10月29日(土)唐津市「城内閣」に於いて、同窓生20名を集め、盛大に行われました。

遠くからは、千葉から本島(中村)さん、東京から松井君、神奈川から古賀君、鳥取から三瀬(服部)さんのご参加を頂きました。卒業後、42年振りの参加者もあり、唐津くんちの出し物で有名な曳山展示場を見物し、会場である「城内閣」で記念撮影後、先生への記念品及び花束贈呈、先生からのお礼の言葉を頂き、高野君の乾杯の音頭で祝宴に入りました。

新鮮な魚料理に舌鼓を打ちながら、参加者からの現況報告、得意の喉を披露しながら、全員で校歌と高校三年生の合唱で宴は最高潮に達し、博多祝い歌(祝いめでた)を歌って、約3時間の祝宴を博多手一本で締め、次回同窓会での再会を約束し、福岡天神にて散会しました。

93歳(38年)まで福商會費を前納されている長澤先生、奥様と大好きなご旅行を楽しまれ末永く御幸せでありますよう、教え子一同心よりお祈りいたします。

61回生7組幹事

郷原 誠一



珠心会(珠算部OB)開く



去る11月5日(土)、湧水千石の郷にて創部75周年記念の第43回珠心会を開催しました。岡口靖夫(61回生)先輩から堀江知子(90回生)さんまでの各代表15名が、年一回の懇親を楽しみました。会の設立時からの先輩方の、後輩への思いと、継続する心の大切さを再認識しつつ、71回生の田中(高松)ますみさんの長男、良樹君(8才)が珠算3級にチャレンジとのこと、将来に期待する声援で大いに盛り上がりました。

川崎 豊(70回生)

帆足先生叙勲祝賀会
記念クラス会(69回7組)

帆足知己先生(第18代校長)が今春、皇居にて瑞宝小綬章を受章されました。

その記念クラス会を、9月10日(土)に23名が参加して、博多駅筑紫口の「味処ひかり」で開催し、長年のご功績に敬意を表し、心からお祝いしました。



今でも背振山登山をライフワークにされて、いつも元気な「ナツチャン」(当時の先生のニックネーム)を中心に、皆で受章を喜び合い、酒宴を楽しみました。記念に登山用ウェアを差し上げ、これからも山を愛して頂きたいと、話しが盛り上がりました。参加者の満足感は写真にも出ています。二次会も更に盛り上がり再会を約しました。善い子、悪い子、普通の子だった私達に真の教育をして頂いた帆足先生にいつまでも感謝です。写真を担当してくれた、八組の堀本君ありがとう。

善生 喜利 記

福商応援団OB
洋治朗会を開催

9月18日(日)天神テルラフホールで「福商応援団OB洋治朗会」を開催しました。

当日は、恩師の応援団最高顧問、藤井正訓先生にも出席を頂き、先日受章された、西日本スポーツ賞体育功労賞のお祝いと初代中山洋治朗、入江淳(62回生)両先輩の還暦祝いも兼ねて行いました。

久しぶりのOB会であったせいか遠くは沖縄、大阪、兵庫、大分からの参加もあり、福商校旗、応援団旗の下で互いに築いてきた「熱意・力」、応援団心得「自覚・責任・誠実・規律」を再確認しながら先輩・後輩の枠を越えて、笑い声も話し声も応援団らしく大声で盛り上がりました。

最後は全員の健康を祈りつつ、校歌、応援歌、国歌等を出席者で力強く熱唱しました。また、福商のOBとして、現福岡高校に対して応援部の開部を福商会に強く要望する事を互いに確認しあい、2年後の再会を誓って盛大裡に閉会しました。

寺崎 裕幸 記
(67回生)



福商61回卒業生集まれ!

心のゆとりをつくる会発足!

人生の歩みの中で最大の通過点といっても過言ではない「還暦」を私達61回卒業生は2004年に迎え、その記念として、全国から150人の「同志」の出席ではなやかに「にぎやかに」「なごやかに」そして明日への「人生ロマン」を語る「学年合同還暦同窓会」を開催いたしました。

人間の死亡率は100%ですが、いつかはわかりません。だから生きていけるのでしょ。しかし私たちの人生の残り時間は砂時計の砂と同じ、少しずつ減ってきております。

そこで、翌2005年1月に学年合同同窓会の運営幹事の新年会を設け、還暦後の人生を「楽しく、有意義に日々を過ごす充実した人生を歩むには」のテーマで談笑しました。高校時代は「おまえ、おれ、あんた、うち」などが気兼ねなしで言えた、その同窓会の仲間です。心から笑える会をつくり、ストレスのない余生を、みんな楽しく過ごせれば最高だなどいふことになり、2005年5月21日福商61回生「心のゆとりをつくる会」を発足させました。

趣旨は「還暦後の新しい人生を、心のストレスを解消し、心身ともに有意義にエンジョイしよう」。ルールは簡単、メンバーに「ストレスを与えないこと」。入会条件は福商61回卒業生であればだれでもOK。定例会を年3回(1月、5月、9月)(そのうち1回は「心のゆとりをつくる旅」へ出かける予定)開催し、あとオプシヨンで「スポーツサロン」「文化サロン」「趣味のサロン」などと開催していく予定です。

現在(2005年9月1日)53人のメンバーで発足したばかりですが、同じ学び舎の屋根の下で「学び、運動、遊び、悪そつしたろっ」の仲間なのでしょっか「和気あいあい」の楽しい雰囲気が進んでおります。

メンバーの方々が「心が笑い」「心がトキメク」還暦後の充実した人生を歩めることのお手伝いができるように、気張らず会を盛り上げていく所存です。いつでも入会OKです。「福商61回卒業生集まれ!」

福商61回生「心のゆとりをつくる会」会長 井上 辰馬
問い合わせ先/事務局 内藤 博
tel: 092-281-1111
fax: 092-281-1111

同窓会ってクセになりそう

第56回全国合同同窓会大会当番幹事 学年同窓会

学年同窓会の通知が夏の初めに届いた。当時私は県外に住んでいたが、7年ぶりに福岡へ帰れることが決定した直後でもあり迷わず参加を決めた。

当日は朝から緊張気味だったが、会場に着いたら懐かしい顔がチラホラ見えて遠い記憶をたどってみる。受付で名札を渡され

何の迷いもなく記入したけど、そっか、旧姓書かなきゃ誰にもわかってもらえないかも、と訂正する。でも友人の一人から「変わらねえ。卒業アルバムから抜け出たみたい」との言葉で複雑に思いながらもホッとする。

和やかに会は進行し気分はずっかり高校時代へタイムスリップ。話も弾んで「実はあの頃私ね…」なんて暴露話もやることながら、「私達のクラス(5組)って進学でも就



職でもないどっつつかずのクラスだったよね」との言葉にドッキリ。道理で卒業後の私の人生、なんだか中途半端だった気がする。あれから23年。もっと勉強しておけば良かったとお決まりの反省をしている毎日だもの。

今回、参加した約100名の同窓生は、それぞれ仕事や家庭の事情はあると思うけど、たまにはこうやって帰ってくる場所を持っていたいななんて思った。

来年は私達81回生が合同同窓会の当番幹事とのこと。一人でも多くの方々が参加されるようお手伝いしていきたいと思う。最後に今回のために大変な準備をして下さった役員の皆様へ最大の感謝の言葉をお伝えしたい。ありがとうございました。また、集まろうよ！

算 清美(81回生)

古希祝い同窓会(52回生)

10月5日(水)、セントラルホテルにて、昨年(卒業50周年記念)に続き、古希祝いの同窓会を開催しました。

出席者は75名、来賓として恩師の丸田先生、出利葉先生、福商会から山口理事長、前田専務理事、川瀬事務長にご出席いただ

きました。

70歳を元気で迎えたことに感謝し、おいしい酒を酌み交わしました。



第55回福商会全国合同同窓大会を終えて



早いもので、平成17年6月12日、ホテルニューオータニ博多において行なわれた、第55回福商会全国合同同窓大会から6ヶ月がたちました。おかげさまでチケット

売上総枚数818枚、当番幹事80回生約150名、ご来賓、ご招待者を含め約1000名近くの大盛会となり、そして何よりも無事に81回生へ同窓大会のバトン、福商会の法被を引き渡すことができました。これも未熟な私どもを暖かく見守ってくださいました先輩方や後輩の力強い後押しのおかげだと本当に感謝申し上げます。

何もわからないまま実行委員を引き受け、走り抜けた1年余りでしたが、私の人生にとっても大変思いの強いものであり、すばらしい時間の経過だったことを今では懐かしく思い出されます。この同窓大会への取り組みは79回生の先輩方からのアドバイスで、翌年の私どものために1年以上前から第54回同窓会実行委員会会合への参加をすすめて頂いた事からでした。同窓大会を盛り上げていくには、80回生当番幹事への協力呼びかけ、そして広告収入を集め、当日の同窓会のスムーズな進行が重要です。始めは80回生も5、6人からのスタート

でしたが会を重ねるごとに仲間が増え、最終的には同窓会当日には約1500名という結果となりました。そしてそれぞれがこの1年、同窓会を通じ、多くの先輩方が福岡の経済界で活躍をされていることに目をみはり、我々が学んだ福商という歴史と伝統の重みを再認識したことを思います。

今回、同窓会を開催するに当たって、ご出席いただいた来賓の皆様、同窓生の皆様にあらためて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。本当にありがとうございました。

最後にこの紙面をお借りしまして、中心となつて支えてくれたクラス代表の仲間がこの大同窓大会の成功の力ぎだと大変恐縮ですがここに記させていただきます。そしてこの同窓会を成功させるんだと、暗中模索ながらも一歩一歩築き上げ、常に前向きに頑張ってくれたみんな、本当にありがとうございました。

池田 美雪(80回生)

平成18年度 全国合同同窓大会のお知らせ

日時 平成18年6月4日(日) 午後3時30分から

会場 ホテルニューオータニ博多

これからの福翔高校

(その三)

教務主任 江口 武俊

前々号の福商会報

第一四二号で、総合学科

高校へ改編されてからの五年

間の総括と他校の様子、そしてこれからの福翔高校で取り組んでいく改革について紹介させていただきました。前号一四二号では、これまでの本校の入試試験(推薦入試)の実情と今後の変更点についてお知らせしました。

今回は、みなさんも一番興味をお持ちの、近頃の授業に関する新しい取り組みについてお話をさせていただきます。

一、シラバスについて

みなさんシラバスというものをご存知でしょうか。シラバスとは、これまで大学等で受講者が履修科目を選択したり、授業の予習や準備をおこなったりするために、授業担当者が講義の内容や概要、また一年間の予定を事前に提示したもののことです。

ところが、高等学校でも、シラバスを作成して「わかる授業」を推進するために、利用しようという大きな動きがあります。高校用のシラバスには、その科目の目的は何か、これからどのようなことを学ぶ

のか、そしてその科目ではどのような準備が必要なのか、また、その学習がどんな進路と結びついているのか、またどのように評価されるのかなど、多くの情報が見えています。ですから、生徒はシラバスにより、学習の仕方がよく解り、学習に対する意欲が高くなると言われています。

本校では、他校に先駆けて、総合学科になった時から、生徒の科目選択のために「講読案内」という冊子を作成してきました。しかし、これはシラバスの簡易版というものでしたので、これとは別に新たに生徒用シラバスを作成しました。さらに今年度中には、生徒の反応や生徒の実態と照らし合わせて、指導内容を精選したり、一年間の計画の見直しをしたり、指導方法の改善を検討したりして、再び、今年度末に改訂版を完成させる予定です。平成18年度からは、年度当初の授業で、各授業者が受講する生徒にシラバスを配布して、それぞれの授業のオリエンテーションを実施し、意欲的な授業が展開されていくものと思います。

二、生徒による授業評価について

次に、12月から、全職員で実施を開始

したものに、生徒による授業評価があります。これは、まさに授業を受けている生徒が、先生の授業を評価するものです。しかし、生徒自身も自分のその授業に対する取り組み方や態度を自己評価し、その上で先生の授業を評価するのですから、言いたい放題に身勝手な評価をする訳ではありません。

授業評価の内容は、授業内容の目標が明確か、説明はわかりやすいか、板書は見やすいか、進度は適切か、声は聞き取りやすいかなどになっています。

私も、先日実施してみました。生徒は自分の授業に対する取り組みにはかなり厳しく評価しているのですが、私の授業については、結構思いやりがある評価となっているようで、少し甘いのではないかという評価をしていました。最後の記述欄には一年間の授業を受けての気持ちをつづてくれた生徒もいました。とにかく、これからは、今までより一層効果的で魅力ある授業を工夫していかなければと、身の引き締まる思いがしました。

このように、この授業評価によって、生徒は授業にのぞむ自分の姿勢を改善し、先生は指導方法の工夫や改善の参考とします。ですから、この評価によって生徒

と先生がお互いによりよい授業を創造していく姿勢が生まれてくること期待できます。

三、おわりに

教育課程や入試システムの改革に加えて、今回の授業シラバスの活用や生徒による授業評価の実施によって、学校の現場は今、大きく変わろうとしています。いつの時代でも変わることのない不易なものは大事にすることも、新しい取り組みを重ねて行くことにより、福翔高校は新しい形の総合学科高校へと変わろうとしています。今後の皆さんのご協力とご声援を心からお願いたします。



体育部・文化部の主な成績

体育部(夏休み以降~11月末)

陸上競技部

【インターハイ】

谷 美枝 走高跳18位

【九州新人大会】

田口 明美 400mハードル3位

谷 美枝 走高跳6位

水泳部

【インターハイ】

谷口実雅子 500m出場

下大迫 大濱・高木・谷口

400m自由リレー出場

【岡山国体】

谷口実雅子 400m自由リレー

福岡県選抜チーム4位

バスケットボール部

【岡山国体】

旭 健介 福岡県選抜チーム2位

ソフトボール部

【岡山国体】

山田 麻未 福岡県選抜チーム優勝

文化部(夏休み以降~11月末)

書道部

【県高文祭】

林 麻希(全国大会へ2年連続)

庄司 恵恋(九州大会へ)

放送部

【九州高校放送コンテスト県大会】

加古 大地 アナウンス部門 3位

(九州大会へ)

「はじめの二歩」 ラジオ番組部門 5位

(九州大会へ)

演劇部

【県演劇大会】

優秀賞(九州大会へ)

藤井 絵里 創作脚本賞受賞

美術部

【県高文祭】

中山 美穂 美術工芸部門(九州大会へ)

その他の活動(夏休み以降~11月末)

「スポーツエアロビック」

【フスキジャパンカップ2005全日本選手権】

若葉 葵 ユースワンスィングル3位

ユースワンスィングル2位

「ショートトラックスピードスケート」

【2005アジア大会】

三浦 裕 500m3位(日本人トップ)

給費奨学生への保護者説明会

福商会役員出席

9月26日、福岡高校において平成17年度の給費奨学生への保護者説明会が開かれました。福商会からも山口毅理事長、前田福一専務理事らが出席しました。山口理事長から「福商会の奨学金制度は昭和41年に始まり、今年は1年生から3年生の25名の方に給付します。奨学生の皆さんは学校の審査を経て、体育・学業に秀でた方々であり、思う存分力を発揮して活躍されることを期待します」との挨拶がありました。また、段裕明校長は「感謝の気持ちを忘れずに、自分の進路を見出し本校生徒の模範になるよう頑張ってください」との挨拶がありました。



平成17年度の奨学生の皆さんから福商会へ数多くのお礼状が届きました。

FNFA企画イベント第一弾

FUKUSHO OB LIVE



FNFA(若人達の会)が企画した初めてのイベント「FUKUSHO OB LIVE」が催され、当日は大盛り上がりで大成功でした。

2005年11月20日FNFA企画第一弾「FUKUSHO OB LIVE」が無事終わりました。

当日はバンド、ダンス、DJなどの音楽ステージや豪華賞品付のゲーム企画、帽子デザイン等、ファッション企画を中心に進行していきました。

「いったいどれくらいの人に来てくれるだろうと不安でしたが、スタッフも含めると約100名の福商OB・OGが来場して下さり、大盛り上がりで大感激でした！」

開催までのこの約一年間色々問題やハプニングも起きましたが先輩方の温かいサポートや

後輩たちの力強い支えのおかげで無事に終える事が出来ました。私の「FUKUSHO音楽でイベントをしたい」という思いを実現させてくれた出演者みなさま、企画のみんな来場して下さった方々、ご声援下さったすべての方々そして、FNFAに心から感謝しています。ありがとうございました。

今回の経験を生かし、次回ももっともっといいイベントにしたいと思っています。私達の音楽でFUKUSHOの交流が生まれるのを目指して！

それでは、また春にお会いしましょう。

やっぱりFUKUSHOはすごい学校やね。

寒竹 麻衣子(101回生)

FNFAは若い世代が中心となって様々な企画を運営し、交流を深めていく会です。

FNFAでは新しいメンバー・企画を募集しています。お問い合わせは福商会か下記アドレスのFNFAブログへ
Blog: [http://www.fukusho-ob.com/](#)

PLAYBACK

青春 プレイバック 4

福商サッカー一部時代の思い出

古賀 清美 (66回生)



福商サッカー部を卒業して37年になりました。

現役時代は昭和41年の夏の全国大会に出場のため、青森へ行ったときが一番の思い出として残っています。夕方に博多から東京行きの寝台列車で発ち、翌日の夕方に上野駅から普通列車で青森へ向かいました。車中で寝るときは、床に新聞紙を敷いて寝る者がいたり、今では考えられないような光景でした。これから試合に臨むチームかと幾度なく思い、今思えば考えさせられることばかりでした。当時の監督は藤井正訓先生で、引率は引頭勲治先生でした。先生たちもまだ30歳代で、私は学校のなかでは一番偉い人はサッカーの監督だと思っていました。

試合会場は三戸という町で、富山県の富山工業と対戦し、残念ながら1対2で負けましたが、自分なりに勝てた試合だっただけに悔しい思いが、今でも思い起こされます。翌日、博多へ帰るものとおもっていたら、監督が「ここまで来たけん、北海道へ連れて行くぞう」との話でビックリしました。札幌には水口鉄幸(62回生)先輩が転勤してきているとのこと。後で分かったことですが、最初から監督と引頭先生が計画しておられたようで、私達は優勝したとき以上に喜んだものです。青森から函館連絡線で夕方に出発し、翌朝、札幌に着き、水口先輩に会い、昭和祈山、洞爺湖を見学し、その日は登別温泉に泊まりました。次の日は札幌市内を見学し、翌々日東京に向かい、夕方まで東京見物でした。このときの思い出は私にとって一生忘れることが

できない出来事でした。

昭和43年に卒業後、福大に進み、大学4年間は春夏の母校の合宿を手伝ったり、昭和43年の大阪万博のときには、母校の高校総体和歌山大会へ同行したことを思い出します。

私の学生時代は、つらい練習の日々でしたが、それ以上に楽しい遠征の連続だったと思います。また、私には素晴らしい先輩たちに巡り会い、現在でもサッカーを続けられ、サッカー部OB会長を務めさせていただきながら、楽しい人生を過ごしています。前OB会長の上田徳蔵(52回生)先輩や、井上昇(50回生)、宮崎弘(53回生)、鹿兒島史浪(53回生)、吉村幸雄(54回生)、故森 山容(55回生)、井上辰馬(61回生)の各先輩たち等、たくさんOBの支えにより、現在の福商サッカー部OB会があると思っております。

兵庫県西宮には、杉田隆正(62回生)先輩がお住まいで、西宮チームと福商OBでチームを結成し、台湾遠征をしたことも楽しい思い出です。また、上田先輩と藤井先生たちの発案で韓国遠征し、釜山商業OBとの交流試合もありました。色んな先輩、後輩たちに出会えたことに感謝させていただき、母校福商に入学、卒業できたこと大変良かったです。

これから母校福商高校サッカー部がますます活躍されることをOBの一人として応援して行きたいと思っております。



第35回 福岡市8校OB野球大会

福岡野球OB会事務局 西山 末廣(73回生)

11月3日(文化の日)
泉宮春日野球場 11月13日(日) 修猷館高校グラウンドにおいて第35回福岡市内8校OB野球大会が開催されました。

この大会は、福岡市内の高校8校(福商、修猷館、香椎、筑紫ヶ丘、福工大、西南、博工)のOBが毎年、一堂に集まり2日間(わたり、旧交を温めている伝統の大会です。現役高校同様、硬式ボールを使用し、選手構成は、29歳以下、39歳以下、40歳以上がそれぞれ3選手のルールのもと、7回制で試合をしています。

本年度は、一回戦西南学院高校と対戦しましたが、健闘むなしく6対13で敗退してしまい、2日目の試合に進むことが出来ませんでした。例年の戦績から見ても、一回戦を勝利し、2日目の準決勝、決勝に進む予定にしていたのですが、当日は思いのほか選手が集まらず、我がチームは29歳以下の選手が0名のロートルチームになつてしまいました。

来々、第36回大会は福商が幹事(三番校)です。前回、幹事(三番校)第28回大会の折には、我が福商野球部OBが優勝しました。それ以来、決勝戦には、2度進出しましたが、優勝には届いていません。来々、第28回大会以来の、2回目の優勝を目指して臨みたいと思っております。福商野球部OBの皆様、参加と協力、宜しくお願い致します。



感動をありがとう!!

元福岡商業高校教師
(昭和26年4月〜56年3月在職)

広瀬 博一

我が心のブラスバンド部

「音楽とは美しい魂の進りであり、愛する心の、謙虚な表白である。その若い先生と生徒達の間に通い合う、美しい交流を見た。音楽とは、美への献身とは、かくあること、私の心は明るく、幸福であった。」(指揮者朝比奈隆氏の本校吹奏楽部演奏に対する賛辞より。昭和四十二年八月) 福岡市民会館

顧みると、昭和三十七年当時、ジャズバンドがありましたが、教育上大きな問題が生じ、その解決策として、ブラスバンド創部となりました。そのようないきさつのため、発足当時から予算面など配慮して頂き、四十二年十月には「創立七十周年記念音楽会」を本校出身の平井哲三郎氏指揮の下に、ピアニスト佐藤博子女士をお招きして、福岡市民会館で開催するまでに至りました。

コンクールの結果に一喜一憂するよりは、音を楽しむ、音楽会が優れていると考え、創立記念音楽会を契機に、コンクールには出場せず、音楽会に向けての練習に専念することにしました。音楽担当の西川昌宏先生を中心に、二年間を準備に当り、四十五年十一月に、第二回音楽会を市民会館で催す運びとなりました。

「うつむいて涙を流しながら楽器をケースにしまっている生徒。その場に座り込んで泣いて動こうとしない生徒。演奏終了後の楽屋は、もう異様としか表現できない雰囲気包まれていました。」―音楽会閉幕後の緞帳裏の情況―(昭和四十四年一月号、パン

ドジャーナルの拙稿より)

「苦しい荊の道。その道を歩きつづけよう。そしてその後を得た喜びこそ最大のものである。」(吹奏楽部三訓)という文言そのものの、舞台裏の雰囲気でした。

福商頌歌で緞帳が降りたときの感動を支え続けてくれた方々に、改めて謝意を表します。市民会館を満員にするのは大変なことでした。丸田淳先生は、卒業生の多くいる会社を訪ね、入場券を五枚、十枚と販売して、私と歩いてくれました。福商会にも券の販売に当たって戴き、諸先生、ブラスの諸先輩にも、種々の面でお世話になりました。音楽会御来場の皆様、有り難うございました。皆様の御支援で、かけがえのない感動が与えられた。ただただ感謝しております。



昭和49年8月 合宿 八木山青年の家
西川(最前列右より三人目)、家入(左上)、柴田(右上三人目)の各先生、筆者(柴田先生の上)

広瀬先生の思い出

スーツ姿に白い運動靴、そんな活動的でないでたちで毎朝中庭の水撒きと草取りを欠かさない先生でした。

吹奏楽部の元部員のなかには、一緒に奉仕作業をしたひと、少なくありません。

音楽室に入られると、部員にむけて激励をしてくださる先生でした。

「少年よ、大志をいだけ、より高く美しい音楽を」のメッセージのもと演奏中はご自分で音楽の調子をとりながら、ポーズをとられる熱血の恩師でありました。

モーツァルトを愛され、定年後はオーストラリア・ウィーン郊外の墓前に赴くとの話を何度となく聞かされました。

音楽をこよなく愛される姿勢に、敬意を表しますとともに、いつまでもお元気でありますことを祈念しております。

幸田 守生(79回生)

2006年
2月26日(日)
受付 PM4:30
Start PM5:00
会場 セントラルホテルフクオカ 3階
tel 092.712-1212

Fukusho Brass OB発足会

お問い合わせ先
福商会事務局 tel 092.711-9890 fax 092.711-9266
info@fukushokai.or.jp 福商/福翔ブラスバンドOB 有志一同

福翔高校吹奏楽部 スプリングコンサート開催

● 吹奏楽部支援チャリティーコンサート ●

日時: 2006年3月26日(日)
開場: 午後3時 開演: 午後4時
会場: 福岡市中央市民センター
福岡市中央区赤坂2丁目5-8 tel:092-714-5521

お問い合わせ
tel (092) 711-9890 fax (092) 711-9266

同舟往來

白水 宗孝 君(50回生)



宮崎宮西側でガラス店を経営。小学校の交通安全指導活動はすでに50年を数える。年中毎日である。□で言う

のは簡単だがなかなか出来るものではない。彼の熱意・意気・力に裏打ちされボランティア精神と確固たる行動力の賜物であろう。地域の安全指導にはなくてはならない存在で、地域住民の信頼もあつく、感謝されている。小学校のゲストティーチャーとしても持ち前のユーモアをもって安全教育にも力を尽くしている。今日もユニフォームにきちんと身仕度し、指導する彼の姿を箱崎の辻で見かけた。

安河内 繁喜 君(52回生)



損害保険代理業協会(会員420名)の県の会長を6年務め、現在は名誉会長。全国の常任理事でもあった。

8年前からは企業「サンタルトン」会社、N-1Bを立ち上げ、またロードサービス事業でもJAFに抗して株式会社アイエスを創設し、代表取締役となりアメリカの保険業界との交流にも力を注いでいる。古希を迎えますますます意気盛ん。

福商時代は硬式テニス部に属し、中牟田前理事長からも直接手ほどきを受けた。現在でも週2回は3時間程汗を流している。春日ローンテニスクラブ選手権でも4回優勝している。

鹿児島 史浪 君(53回生)



昭和29年サッカー部で石橋・江崎・小阜川・添田・宮崎氏達と第9回国体(札幌)に出場されました。昭和30年卒業後、博

多人形師の父上の後を継がれず、福岡倉庫株式会社就職。平成4年社長就任、平成15年まで増収増益に全力を尽くされ、平成16年勇退されました。

趣味の陶芸や篆刻、畑を借りて菜園にと、自然に逆らわない心豊かな毎日を楽しんでる様子は、TV放映で紹介されました。皇居での新年歌会始めの選者(アララギ派)を務められ、また紙塑人形で人間国宝であった鹿児島寿蔵氏は伯父であり、福商教師であった鹿児島陽先生は兄上です。

占部 義孝 君(57回生)



東京でモデル、芸能業界に飛び込んで32年。何も知識がない業界に入り、当初は大変苦労された様です。平成

3年に表参道に事務所をオープンし、主に雑誌・ファッションショー・企業のイメージガールを育てられ、ご自分でも夢を見、若い人の夢のお手伝いをして充実した日々を過ごされています。今秋、大手と合併し、ますます頑張っておられます。

この業界へ夢を持った若い人がいらつやいましたら、是非ご一報を。株式会社ウイント tel 03-3469-7285

八尋 茂忍 君(59回生)



在学中は柔道部で活躍され、卒業後は福岡県警に勤務。平成15年3月に定年退職し、その後は家業、好きな山

登り、旅行と余暇を楽しんでおられます。「今!由布岳の頂上から...今!指宿の砂風呂から...」と私の携帯電話にメッセージが入る事もあります。退職後は、ゆつくり家の事をしたい」と言っておりましたが、今年から福商会の代議員として同窓会の運営に携れ、現在はソフトバンクBB(株)の「お客様相談室」に勤務、誠実で逞しい彼を企業は求めますよね。同窓生の絆、これからもずっと大切にしたいと思っております。

平田 哲子 さん(64回生)



昭和41年卒。堅粕校舎から野多目校舎に移転後、在学中は、吹奏楽部でピッコロを担当。吹奏楽部創部の3年目

にあたり、楽器も大変不足しており、ご苦労もあつたようですが、「より高く、より美しい音楽」との先生方の指導のもと何とか乗り越えてこられたと伺っております。

現在は、有限会社平田紙文具事務機を陰に日なたに支え、東に西に奔走される日々です。また福商会コミュニティルーム「さくら会」の活動について、よきお姉さんとなつて輪をひろげ、盛り上げて頑張っておられます。最近では、二人のお孫さんに囲まれ忙しい日々の一時を寛がれているそうです。また地域の委員活動にも積極的に参加され、公私とも今後いつまでも活躍を祈念しています。

宮重 美信 君(65回生)



昭和39年4月野多目校舎の第一回生として入学。3年の時は生徒会副会長として体育祭、文化祭の運営に携

わつた。3年間は鹿児島陽先生の薦めにより、母校の最初の奨学生だった故松尾倫太郎大先輩(19回生)が私財を投入して、昭和34年に「公益奨学資金」を復活させ、その奨学生となった。

現在は岡山でラーメンチェーン「餐休」8店を経営。座右の銘は卒業時に担任の井上光先生からの言葉として、インパール作戦のときの生存者の一人でもあり、その体験から「後方に退く前に進め」を人生訓にしている。この教訓を胸に社員には「厳しさと優しさ」で接している。

小出 淳一 君(80回生)



在学中は、剣道部に所属し活躍。卒業後は、修行行脚：東京銀座のユアハイネス、神奈川葉山のフランス茶屋、

その後「フランスに渡仏「パレド・シユクレ」にてMOF(フランス最優秀職人のシャルル・セバに師事。帰国後、平成12年二代目跡継、PATERSEERIE KOIDE(福岡市南区長丘のオーナーとして忙しい毎日を送っています。

2006年は40周年を迎える老舗の洋菓子店です。





ひと

渇いた世間 にわかで明るく

郷土芸能・博多にわか愛好家が集まる「博多仁和加振興会」。このほど開かれた定期総会で、七代目会長に選ばれた古田鷹治さん(78)。「写真」は、顔こそ少々いかついが、にわかで鍛われたのか、対応は温和で優しい。「博多にわかを通して本物の笑いを提供し、ユーモアやウィットに欠ける世の中を明るくしたい」がモットーだ。
(編集委員・保坂晃孝)



博多仁和加振興会は一九五九年の創立。第二次大戦後、衰退していた博多にわかへの再興が狙いで、当時、ばらばらに活動していた人たちがこぞって参加。以後、半世紀にわたり「博多益仁和加大会」(毎年八月に開催)を

博多仁和加振興会長になった 古田 鷹治さん(42回生)

中心に活動を拡大。「博多仁和加」は二〇〇一年に福岡市無形文化財に指定された。

現在、会員は約百二十人。全員素人とはいえ、芸事だけに「一言居士」も少なくない。会長には調整能力も必要とされる。古田さんは、会長を二十五年間務めて昨年十月に九十五歳で亡くなった下澤敏さんのもとで副会長となり、下澤さんの死後は会長代行であった。「飛躍のための条件整備が私の役目。みんなをまとめていきたい」

生まれ育ちは、福岡市東区箱崎。「こまかときから、そばににわかがあった」。今も個人、あるいはにわか集団「箱善組」のメンバーとして、顔の半分を隠す「半面」や張りぼてのかつらをかぶって舞台上に立ち、イベントの余興や講演、解説などをこなす。元九州大学農学部教官。「退官の時は講師だったが、万年助手じゃった」と笑う。

「こまか下手なにわかを二つ」
「古田さんが振興会のトップになろうとしたが、うまくやらなかったらどうか」
「大丈夫です。太鼓判は押ししてもよかほい」
「そりゃ、トップのことやけん、会長(快調)に決まってる」

2005.8.30 西日本新聞より転載



博多仁和加

謹賀新春
母校福商の弥栄を祈り
同窓同舟の健闘に期待する。



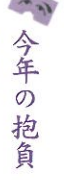
国際親善
「正月の玉せせり八幡崎宮に行ったときがウサ、お宮の前でハッター、インドネシアの、ワラワンさんと久しぶりのイキとツイ。しっかり握手はして旧交はあたためたんや。」
「そりー良かったお宮の前でしたとこやけん、これがほんま国際親善神前タイ。」



マナーアップ
「おいお前は正月早々マナーのわけがな、」
「ごんや。」
「ごーしてやじゃなクタイ。反省の力やもなかな。今年じゃ成年んとい、犬い何かばきつけよったね。あら一何や。」
「そりー大年のことやけん、ワッわんわんカップに決まらな。」



福博経済景気
「今年の福博経済界の景気見通しは、ごんごんやごんやごんや。」
「心配することないらん。みんなが力はあわせて頑張るや、そりー祝いで出度になんや。」
「ごんごんや。」
「そりー、エー、シヨウ、エー、昌栄、シヨウ、エー、昌栄、になんやごんごんや。」



今年の抱負
校長先生「君たちや、この三月に自出た、卒業の予定やが、今年の抱負は、ごんごんや、きかせやうてなない。」
卒業予定者「今年は成年じやけん、何事もナンバーワンになりたかと思っております。それよか俺にしか出来ないオンラインワンの仕事をしたかと思っております。」



古田 鷹治(42回生)

福商会「わくわく会」発足

女性の会

「わくわく会」発足の経緯を致しまして、一部の女性から福商会をもっと知ろうとの意見が寄せられました。毎年行われる全国合同同窓大会に、より多くの女性参加およびサポートをしていくということ、女性同士の交流・親睦会等の開催。
福商会報からの情報をもとに認識度を高め、活動の拠点をひろげていくなど、皆さんの熱い想いをもとに積極的に活動して参りたいと思っております。

また福商会の会員の皆様に幅広く呼びかけていきます。

今後の活動などについては随時、福商会報・福商会ホームページにて掲載いたします。みなさんの参加・御要望もお待ちしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

※名称の「わくわく会」は福商(福翔)高校の校章にちなんで名づけました。



フランス・シャモニーの夏

平成17年の夏、古希を迎えた私は友人を誘い、フランス・スイスの山々へ青春を求めて旅立った。

成田を10時30分に発ち、夏時間の時差が7時間あるので当日午後4時にはスイスのチューリッヒに着いた。チューリッヒ湖畔に宿を取り、ミートフォンリューを摘みながら往途の無事に祝杯を上げた。折しも近くの教会の鐘が鳴り響き、これから始まるアルプストレッキングの素晴らしい前夜祭となった。

一夜明け10時40分の列車で東フランスのシャモニーへ向かうのであるが、EUの恩恵

でスルーの乗車券を買うことが出来た。スイスフランスの国境は峠にあり、シャタラー・ド・フロンティアと言う駅で、スイス税関の係官が車内に乗り込んで来てパスポートの検閲を受けたが、スイスは未だEUに加盟していないという事情があるからであろう。午後3時過ぎ列車はシャモニーの小さな駅に着くと、其処はもう山岳リゾートのメッカで、登山姿の人達で賑わっていた。駅から西へ10分程歩くと街の中心部になり、振り返り見上げると白く輝くモンブランと、その氷河が凄く迫力で街のすぐ近く迄通っており、瞬く間に心は山に奪われていった。

初日は高度順応の為2300mのラックブランへ登ることにした。英語読みだとし

イクブランとなるが、山頂直下には二段に湖があり、湖面にはヴェルト針峰の投影を見ることが出来た。湖畔には青い瞳の少女や髭面のオーストリア人男性がチロルハットの姿で竹笛を吹いていたが、アルプス特有の風情を醸していた。下山後には予約していたガイドオフィスを訪ねた。世界で一番正確な天気予報を出すことで定評のあるこのオフィスは、時間単位の天気図が貼り出されており、登山の成否を事前に読み取ることが出来た。オフィスのガイド達は国のライセンスを持ち、プライドが高く、登山者の要望を容易に受け入れないと聞いていたが、明後日から下り坂の天気図で、早速ガイドから有無を言わさず半日早く

ヨーロッパアルプストレッキング

安恒 武士(52回生)

登山に就く、と宣告された。

明けて愈々モンブラン登山の日は雲一つない夏空であった。日焼け止めクリームを塗る様に指示されていたが、日本アルプスで鍛えてきた自負があり、クリームなしで深い氷雪の上に立った。広大なスケールの雪原に人の踏み跡が細かくゆるやかな曲線でルートを作っていた。ルートの先を眼で追えば、黒い人影が点々と奥へ小さく続いていった。私達も其の黒い点の一つになりながら、ガイドのザイルに従い息を激しく乱していたが、休憩の許可をなかなか貰えず疲労が加速して、終わりには脚に激痛が襲ってきた。山頂迄あと僅かではあったが其処から勇気ある下山をすることになった。

ヨーロッパアルプスの最高峰モンブランは4807mで一般的には二本の登山ルートがあり、5年前にノーマルルートを登山した時、3819mのグレート小屋にて吹雪に逢い、登頂を断念した経緯がある。今回はグランドトラバースに挑んでいたが、この名峰は私達に征服を許してくれなかった。

スイス・ミシヤベル山群

日本人旅行者に人気のある街ツェルマツトへ行く途中の、サンクトクラウスと言う駅からバスで、マッタータールの東側斜面を30分程登ると、隠れたアルペンリゾート、グレンヒエンの街がある。此処からは正面にマッターホルンを望むことが出来るが、更にハテアルプへ登ると、ミシヤベルの山々が白い峰を連ねていた。ピーチホルン・ゼッターホルン・ヴァイスホルン等、端正な三角形がひととき目を引き、物も言わずに二人共暫く佇んでいた。ふと奇妙な動物の鳴き声に眼をやると、カモシカの集団が岩峰から見下ろしていた。愈々旅も終盤となり最後の登山基地ザースフェーへ移動した。フェー氷河のテレキャビン駅、レンクフルから下りながら高山のお花畑を散策する山旅である。久住山のミヤマキシリマと同種のアルペンローズが満開で、山の西斜面をピンクに染めていた。今回、12日間の日程は上天気に恵まれ予定以上の成果を得、古希の青春を取り込むことが出来た。顧みるとモンブランが登頂に至らず雪焼けで唇に損傷を負い、此処ザースフェーの医院へ駆け込む仕儀となったが、今後の戒となれば10点上乗せして10点と自己採点をした次第である。



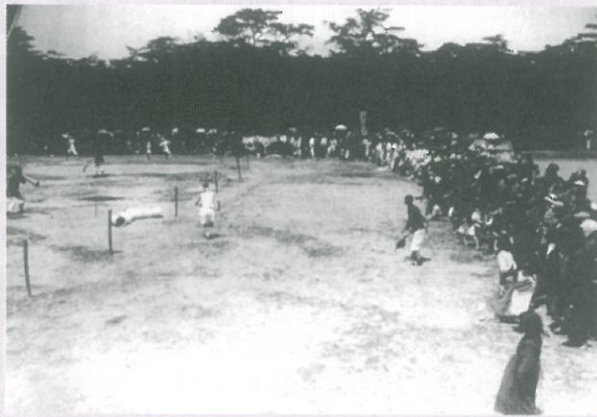
フランス・シャモニーの夏
高木氏とモンブランにて。立っているのが筆者

福商100年史：3

松原校舎時代

第1回運動会の開催、
同窓会規則、校歌制定される
(明治33年～42年頃)

第1回運動会は1900(明治33)年9月、吉岐松原(現生の松原)で開催された。校史の記録にあるが詳細は記載されていない。1902年10月に第2回秋季運動会が博多大浜埋立地(現筑港)で開催された。この運動会では、今でも続いている「フクオカ・「マーシャルスクール」の頭文字でF.C.Sの3ブロックに分け、ブロック対抗戦が行われた。



■ 当時の運動会(リレー)

1904(明治37)年に「福岡商業学校同窓会」が発足し、現在の定款にあたる「同窓会会則」が1907年に制定された。当時の卒業生(4回生まで)の106人の就職、進学状況は自家営業が最も多く33人、次いで学生の17人(早稲田大学6人、東京外国語学校1人、高等商業学校9人など)、軍隊へ入営14人、会社13人等であった。

学校創立以後、正式な校歌がなかったが、創立10周年記念式典を前にした1909(明治42)年4月に念願の校歌を制定した。当時の校長太田徳次郎は「広く校歌を募集して美風を伝えんとす」という校歌募集の文を掲げ、作詞は本校教諭清水忠四郎、作曲は福岡師範(現福岡教育大学)松園郷美教諭によるものであった。各節の終わりの「同校五百有余人」は、現在では「同舟一千有余人」と生徒数に応じて変更され、「いざや我が友歩を移せ」が後に「いざや帆を揚げ舵をこれ」になるなど、曲節の一部は修正されたが、大部分は当時のままで多くの同窓生に親しまれている。なお、応援歌ができたのは、校歌制定から5年後の1914(大正3)年で、同年の秋季運動会でC組の博多弁の応援歌が生徒の人気を得、その後、本校の応援歌として対校試合でも正式に歌われるようになった。

「世界の空気のうなごても」で始まる応援歌をつくったのは、柔道部主将平賀衡太郎(12回生)と中西秀三郎(12回生)の二人。

「なにか目新しい趣向を考えよう」と当時の流行歌に詩をつけてつくったようだが、現在まで歌い継がれ、同窓生の思い出の歌の一つになっている。

また、凱旋歌も1921(大正10)年ごろまでは以下のうたが歌われていたようである。

凱旋歌

一、疾風空に怒号して
迅雷怒りはためけば

見よ鎧袖(がいしゅう)の一場(いちよく)に
放(あ)え無き屍(しかばね)横たえぬ

二、王者(おうじや)に向う蟻(あ)りや
か弱(よ)き者の振舞(ふるま)いや

見よ蔓草(むらさ)の一聲(いっせい)に
靡(な)かぬ方(かた)のあるべきぞ

三、熱血(ねつけつ)健児(けんじ)有五百

覇者(はしや)の冠戴(かんたい)きて
凱歌(がいが)は高く福陵(ふくりやう)の
天地(てんち)と共に響(こ)きなん



■ 応援風景

回想

四国八十八ヶ所のお寺巡りを終えて

松田 俊美(43回生)

四国四県各地に、八十八ヶ所の弘法大師が開いたといってお寺があります。勿論ツアー参加ですから、寺から寺へは、バスで移動します。月に一回の出発で、一泊二日の行程により一年間かけて、巡り終えることになっています。

当初は、行楽ツアーと違い不安もありましたが、参拝を重ねるにつれて、不思議にもホッとした安堵の気持ちになったことを今でも覚えております。しかし、行先はお寺ですから、中には山道を歩き階段を登りつめた所にあります。忍耐と脚力も必要ですが、到着後は、何となく落ちついたさわやかな気分になります。

最終回八十八番目の大窪寺を結願の寺と言い「今までは大師とたのしみ金剛杖つきて納める大窪の寺」と、ガイドさんの別れの言葉でした。私は、思い切つて体験し、無事全行程参加できたことを、自分ながら誇りに思っています。



- 伊賀 山本 良雄 1
川茂川 健明 2
加茂川 仁巳 3
吉野 誠二 4
阿部 昭次 5
森田 幸生 6
山崎 孝一 7
山崎 孝一 8
山崎 孝一 9
山崎 孝一 10
山崎 孝一 11
山崎 孝一 12
山崎 孝一 13
山崎 孝一 14
山崎 孝一 15
山崎 孝一 16
山崎 孝一 17
山崎 孝一 18
山崎 孝一 19
山崎 孝一 20
山崎 孝一 21
山崎 孝一 22
山崎 孝一 23
山崎 孝一 24
山崎 孝一 25
山崎 孝一 26
山崎 孝一 27
山崎 孝一 28
山崎 孝一 29
山崎 孝一 30
山崎 孝一 31
山崎 孝一 32
山崎 孝一 33
山崎 孝一 34
山崎 孝一 35
山崎 孝一 36
山崎 孝一 37
山崎 孝一 38
山崎 孝一 39
山崎 孝一 40
山崎 孝一 41
山崎 孝一 42
山崎 孝一 43
山崎 孝一 44
山崎 孝一 45
山崎 孝一 46
山崎 孝一 47
山崎 孝一 48
山崎 孝一 49
山崎 孝一 50
山崎 孝一 51
山崎 孝一 52
山崎 孝一 53
山崎 孝一 54
山崎 孝一 55
山崎 孝一 56
山崎 孝一 57
山崎 孝一 58
山崎 孝一 59
山崎 孝一 60
山崎 孝一 61
山崎 孝一 62
山崎 孝一 63
山崎 孝一 64
山崎 孝一 65
山崎 孝一 66
山崎 孝一 67
山崎 孝一 68
山崎 孝一 69
山崎 孝一 70
山崎 孝一 71
山崎 孝一 72
山崎 孝一 73
山崎 孝一 74
山崎 孝一 75
山崎 孝一 76
山崎 孝一 77
山崎 孝一 78
山崎 孝一 79
山崎 孝一 80
山崎 孝一 81
山崎 孝一 82
山崎 孝一 83
山崎 孝一 84
山崎 孝一 85
山崎 孝一 86
山崎 孝一 87
山崎 孝一 88
山崎 孝一 89
山崎 孝一 90
山崎 孝一 91
山崎 孝一 92
山崎 孝一 93
山崎 孝一 94
山崎 孝一 95
山崎 孝一 96
山崎 孝一 97
山崎 孝一 98
山崎 孝一 99
山崎 孝一 100

卒業回数	17年度	前年度	卒業回数	17年度	前年度
21~30	29	36	70	26	79
31	13	18	71	10	8
32	18	18	72	11	8
33	17	18	73	11	7
34	10	12	74	6	8
35	40	50	75	16	10
36	18	18	76	5	7
37	27	29	77	11	12
38	33	31	78	10	6
39	43	45	79	25	18
40	43	50	80	19	15
41	40	43	81	8	9
42	50	44	82	13	12
43	44	36	83	4	3
44~45	74	74	84	4	5
46~47	64	62	85	3	6
48	32	36	86	11	9
49	20	22	87	5	6
50	67	69	88	4	6
51	75	71	89	6	5
52	89	86	90	4	6
53	70	56	91	1	3
54	71	66	92	1	1
55	87	82	93	0	3
56	79	66	94	2	3
57	60	60	95	4	5
58	77	72	96	3	4
59	84	74	97	2	3
60	60	52	98	0	1
61	53	35	99	1	4
62	51	47	100	1	1
63	72	69	101	7	0
64	41	34	102	19	312
65	30	24	103	313	0
66	28	23	併中11	0	0
67	36	30	別1~別15	12	10
68	22	23	定1~定43	18	13
69	24	24	合計	2,389	2,315

(平成17年11月30日現在)

会員の皆様のご協力に対し深く感謝し、厚くお礼申し上げます。
会費は母校への奨学金給付、体育部父母会への体育奨学金の寄付等有益に運用させていただいております。
現在、会報を配布するに当たり、会費未納入の方への配布基準の見直しを進めております。
趣旨ご理解の上、これからも年会費の納入についてご協力賜りまじょうお願い申し上げます。

※尚、会費納入のお願いを会報発行時に毎回お届けしておりますが、既に納入済みの方はご容赦下さい。

- 物故者名(前号より12月まで)
- 25 真鍋 信重 百17 7 15
 - 26 榎本 一 百17 12 6
 - 27 榎本 一 百17 12 6
 - 28 榎本 一 百17 12 6
 - 29 榎本 一 百17 12 6
 - 30 榎本 一 百17 12 6
 - 31 榎本 一 百17 12 6
 - 32 榎本 一 百17 12 6
 - 33 榎本 一 百17 12 6
 - 34 榎本 一 百17 12 6
 - 35 榎本 一 百17 12 6
 - 36 榎本 一 百17 12 6
 - 37 榎本 一 百17 12 6
 - 38 榎本 一 百17 12 6
 - 39 榎本 一 百17 12 6
 - 40 榎本 一 百17 12 6
 - 41 榎本 一 百17 12 6
 - 42 榎本 一 百17 12 6
 - 43 榎本 一 百17 12 6
 - 44 榎本 一 百17 12 6
 - 45 榎本 一 百17 12 6
 - 46 榎本 一 百17 12 6
 - 47 榎本 一 百17 12 6
 - 48 榎本 一 百17 12 6
 - 49 榎本 一 百17 12 6
 - 50 榎本 一 百17 12 6
 - 51 榎本 一 百17 12 6
 - 52 榎本 一 百17 12 6
 - 53 榎本 一 百17 12 6
 - 54 榎本 一 百17 12 6
 - 55 榎本 一 百17 12 6
 - 56 榎本 一 百17 12 6
 - 57 榎本 一 百17 12 6
 - 58 榎本 一 百17 12 6
 - 59 榎本 一 百17 12 6
 - 60 榎本 一 百17 12 6
 - 61 榎本 一 百17 12 6
 - 62 榎本 一 百17 12 6
 - 63 榎本 一 百17 12 6
 - 64 榎本 一 百17 12 6
 - 65 榎本 一 百17 12 6
 - 66 榎本 一 百17 12 6
 - 67 榎本 一 百17 12 6
 - 68 榎本 一 百17 12 6
 - 69 榎本 一 百17 12 6
 - 70 榎本 一 百17 12 6
 - 71 榎本 一 百17 12 6
 - 72 榎本 一 百17 12 6
 - 73 榎本 一 百17 12 6
 - 74 榎本 一 百17 12 6
 - 75 榎本 一 百17 12 6
 - 76 榎本 一 百17 12 6
 - 77 榎本 一 百17 12 6
 - 78 榎本 一 百17 12 6
 - 79 榎本 一 百17 12 6
 - 80 榎本 一 百17 12 6
 - 81 榎本 一 百17 12 6
 - 82 榎本 一 百17 12 6
 - 83 榎本 一 百17 12 6
 - 84 榎本 一 百17 12 6
 - 85 榎本 一 百17 12 6
 - 86 榎本 一 百17 12 6
 - 87 榎本 一 百17 12 6
 - 88 榎本 一 百17 12 6
 - 89 榎本 一 百17 12 6
 - 90 榎本 一 百17 12 6
 - 91 榎本 一 百17 12 6
 - 92 榎本 一 百17 12 6
 - 93 榎本 一 百17 12 6
 - 94 榎本 一 百17 12 6
 - 95 榎本 一 百17 12 6
 - 96 榎本 一 百17 12 6
 - 97 榎本 一 百17 12 6
 - 98 榎本 一 百17 12 6
 - 99 榎本 一 百17 12 6
 - 100 榎本 一 百17 12 6

元気印の企業紹介 GENKI COMPANY vol.4



暮らしに安全な食べものを 九州産直クラブ / オーガニックハウス夢広場

吉田 登志夫さん(68回生)



今回の「元気印の会社紹介」は、九州産直クラブとオーガニックハウス夢広場を展開されている吉田登志夫氏(68回生)です。

吉田君は在学中、卓球部のキャプテンとしてインターハイに2年連続で出場し、かたわら生徒会総務も努め、目立った存在であった。卒業後は西南大学に進学し、時代の風にあたって学生運動を経験し、大学中退後、地域生協の設立に携わり、十数年程前までは福岡のグリーンコープ生協の専務を務めていた。あきたらず海外へ飛び出し、1992年英国ロンドンで事業を興した。私もほぼ毎年のようにロンドンの吉田君を尋ねるが、日本食料品店や鍼灸クリニック、アロマ医療学校、留学サポート、フェアトレード貿易など多岐にわたる事業を展開している。

その世界を飛び回る吉田君が2年前に福岡で自然食品販売の事業を新たにはじめた。「九州産直クラブ」という自然食品の宅配と「オーガニックハウス夢広場」という店舗事業である。グリーンコープ生協時代の同僚とともに会社を興し、代表取締役として「安全な食品の地場生産地場消費のシステム」をつくらうとチャレンジしている。同時に、過疎化する農業生産を活性化させようと、自前の農場も熊本県菊池溪谷に拓いた。その農場で飼育されている豚は日本でも類を見ない放牧豚で「走る豚」と命名され、身が引き締まり旨いと「TVどっかの料理ショー」や「RKB共感テレビ」などで何度取り上げられ、西鉄グランドホテルでは「1万円走る豚カレー」としてメニューにもなっているほど美味しい。「九州産直クラブ」は、「地場の生産者と消費者を結びつける」というテーマが反響を呼び、わずか2年間で2000人も

の宅配会員を獲得し、さらに伸び続けている。「オーガニックハウス夢広場」は、南区長丘店に続いて、西区マリナ通りにも昨年出店した。我々68回生は50代半ばにさしかかる。「沢山たべるのは飽きた」「量より質」「旨い良いものをキッチンと賞味したい」という世代にとっ

ては吉田君の「美味しいもの販売」の事業はうれしい。無農薬野菜や天然魚や豆腐など、一度食べたらずやめられない。

吉田君は毎月、福岡とロンドンを往復している。よく体力が続くのだと感心している。

(藤木直幸 記)



オーガニックハウス夢広場 マリナ通り店



オーガニックハウス夢広場 長丘店

九州産直クラブ ☎0120-070-529

オーガニックハウス夢広場

- マリナ通り店 福岡市西区豊浜2-3-4 tel.092-895-6860
- 長丘店 福岡市南区長丘1-20-4 tel.092-551-6773

楽しかった 小石原小旅行

63回生3年9組(1~8組有志)10名の仲間は11月5・6日の両日、今年は担任に蔵本隆(44回生)先生を迎え、紅く染まつた山々の間を抜け一路小石原を目指しました。

今年で通算6度目となる常宿梶原梁山(今鼓窯)宅でのパーベキューと酒の味は家庭とはまた違った格別の宴でした。満天の星空とはいかず生憎の雨模様でしたが、夜が更けるまで楽しい話題は尽きず、来年の還暦同窓会(11月3日)の再会を約し、楽しかった2日間の旅を終えました。

(白浜和樹 記)



NETWORK SYSTEM REMIX Co., Ltd
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

株式会社 エヌ・エス・エックス

コンピュータ・ネットワークシステム開発業務
ホームページ企画・制作・コンサルティング
ホスティングサービス・レンタルサーバー
インターネット・WEBカメラ

代表取締役 **跡部 宗教** (79回生)
ATOBE MUNENORI

福岡市博多区博多駅前3丁目29-21 貝真ビル2F
Total Support Of Computing TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

DARIYA

ビューティ・ビジネスの未来を創る。
株式会社 ダリヤ

代表取締役会長
高木 不二男 (60回生)
TAKAKI FUJIO

〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4-3-25
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
E-mail: f.takaki@net.email.ne.jp
http://www.mmjp.or.jp/dariya

あらゆる印刷は！

慶和印刷株式会社

代表取締役 **前田 福一** (55回生)

福岡市博多区東那珂1丁目15-1
電話 (092) 474-4881番 (代表)

「うまい！」うれしいお礼のことば
きつと印象に残ります……………

味のめんたい 福太郎

代表取締役 **山口 毅** (52回生)

■配送センター・工場
〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777

中華料理
和食
海鮮料理

八仙閣

相談役 **増田 稔** (59回生)

福岡市博多区博多駅前2丁目7-7
電話 (092) 411-4141番

総合建設業一級建築士事務所

株式会社 五成建業

会長 **安河内 馨** (46回生)

東京都世田谷区上馬4の13の19
TEL 03(3418)8151(代)
FAX 03(3424)9418

株式会社 堀江本店

会長 **堀江 武** (52回生)
代表取締役社長 **堀江 徹** (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL (092) 503-0121 (代)
FAX (092) 504-1219

広告代理店

株式会社 春潮社

取締役社長 **古川 淳二** (63回生)

福岡市博多区千代4-29-12
電話 (代表) 641-1031番

緑香・ローソク・お香・広告マッチ

株式会社 中島晴薫堂

代表取締役 **中島 勝敏** (55回生)

〒812-0044
福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
〒854-0055
長崎営業所 諫早市栗面町288番地305号 TEL・FAX0957-21-0675

工業用テープ
包装テープ
梱包機・梱包資材
カットインクテープ
カット絵文字制作

福岡テープ株式会社

代表取締役 **糸永 清二** (55回生)

福岡市博多区博多駅前2-16-10
TEL 092-411-3929(代)

imai PRINTING

代表取締役社長 **今井 勝彦** (57回生)

今井印刷株式会社

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目2番18号
TEL 092-781-5492 FAX 092-781-5613

躍進する 総合建設業・木材業
粕屋グループ 不動産業

一級建築士事務所

粕屋殖産株式会社

代表取締役会長 **篠原 隆義** (54回生)

本社 粕屋郡粕屋町大字仲原2525
電話(代表) 621-1331番

有限会社

エステート平野

代表取締役 **平野 俊一** (46回生)

〒812-0007 福岡市博多区東比恵1丁目11番8号
TEL (092) 431-5616

紙与産業株式会社
紙与不動産株式会社

代表取締役会長 **渡邊 與三郎** (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号
電話 (092) 721-4531番

環境にやさしい製品作りをめざしています

印刷の
ご用命は **nip 株式会社 ナガシマ**
ISO14001認証取得

代表取締役 **永島 光雄** (55回生)
笠木 雄二 (65回生)
本村 智彦 (82回生)

福岡市博多区豊1丁目9-18 TEL482 7751(代) FAX482 7734

伝えたい・残したい物があるとき
一冊の本にしてみませんか!!
お気軽にお電話下さい。

正光印刷株式会社

藤村 みつの (53回生)

営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号
PHONE:(092)741-3266

大化工業株式会社

代表取締役社長 **石村 泰久** (56回生)

〒812-0026 福岡市博多区上川端14-20-903
TEL 092-281-0003
FAX 092-281-3017

PROFESSIONAL by
Uratsuka PRO.
www.urapro.jp

代表 **浦塚 健二** (89回生)

本社: 〒816-0862 福岡県春日市弥生4丁目61-1
TEL/092-584-8057 FAX/092-584-8079
e-mail/info@urapro.jp
☎ 0120-100-822

営業所 福岡営業所/熊本営業所/大分営業所

騎田温泉 新店風呂

ホテル **楠水閣 湯乃禪**
WAKITA SPA HOTEL NANSUIKAKU YU NO ZEN

〒822-0133
福岡県鞍手郡若宮町騎田
TEL 0949-54-0123(代)/FAX 0949-54-0198

野口 嘉孝 (73回生)

博多人形・博多織・久留米絨

増屋

取締役相談役 **田中 寛** (40回生)
取締役 **高崎 隆** (43回生)

川端本店/博多区上川端商店街 TEL092(281)0083
支店/天神地下街・博多駅前店街街・
モスバーガー・薬院店・赤坂店

～玄海の磯の音をそのまゝ直選～

魚村 壽司魚村

天神西通り 大名本店
福岡市中央区大名1-1-45
天神西通り 魚村ビル
☎ (092) 781-7388

福岡市中央区天神2-4-19
天神西通り 第8ラインビル1F
☎ (092) 711-1182

代表取締役 **日野 孝治** (77回生)

順不同

会館だより

母校の国体出場生徒に褒賞金

10月に開かれた第60回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」に出場した生徒3名に、10月7日福翔高校において山口毅理事長より褒賞金が渡されました。山口理事長から「高い目標を持って全力でプレーしてください」と激励の言葉があり、生徒からは「福翔生の名に恥じないよう頑張ります」と力強く語ってくれました。



■出場生徒

旭 康介(3年) バasketボール(少年男子) 福岡県選抜チーム
山田 麻未(3年) ソフトボール(少年女子) 福岡県選抜チーム
谷口実雅子(1年) 水泳(200mフリー-リレー) 福岡県選抜チーム
尚、競技成績の詳細は体育部活動欄に記載しています。

吉住正隆氏(58回生) 第61回 福岡県美術展 工芸部門奨励賞を受賞!



吉住正隆氏(58回生)が福岡市美術展についで第61回福岡県美術展で「奨励賞」を受賞されました。心からお喜び申し上げます。



受賞作品
「ふくろう達この木に停一まれ」

寺崎陽子さん(60回生) 個展開く



二科会会友の寺崎陽子さんの油絵展が11月8日~13日に福岡市天神の「ギャラリーおいし」で開かれました。モスクワから帰国し、ずっと抱き続けてきた、誰もが持っている潜在意識を絵に表したいと思い、「夢の二次加工」のテーマで作品にしてこられたとのこと。サマルカンドやシルクロードをイメージし、ブルーを基調とした抽象画約30点は深い印象を与えていました。これからのますますのご活躍を期待しています。

同窓生の消息を探しています。

~昭和36年(59回生)卒業3年2組~



昭和36年に卒業された中島広男(59回生)さんから、卒業当時のクラス写真を添えて同級生の連絡先を知りたいとお便りが届きました。ご連絡がとれる方は福商会事務局までお願いいたします。

福岡如水館が 剣道日本一!

10月に行われた「第23回全日本都道府県剣道道場対抗優勝大会」で池田健二さん(59回生)の剣道場「福岡如水館」が念願の初優勝を果たしました。如水館は道場創設30周年にあたり、地域の少年育成と剣道の普及を目指して、現在、地元の小中学生約60人が稽古に励んでいます。

俳句

人生を山が狂わす石清水
古希という曲りに来たり秋の蝶

安恒武士氏(52回生)より俳句の投稿がありましたので紹介させていただきます。安恒氏はNHK番組の俳句選者寺井谷子先生のご指導を受けておられるそうです。

記事に関するお問い合わせは福商会事務局へ

TEL.092-711-9890 FAX.092-711-9266

編集後記

* 新年明けましておめでとうございます
昨年は事務局員も総入れ替り、少々不安でしたが一致協力して無事年を越す事が出来ました。今年も早々に色々な行事が目白押しですが、職員一同頑張ってくれるものと思います。本年も福商会員皆様の一層のご協力をご指導をお願い致します。
前田 福一(55回生)

* 同窓生の多方面での活躍を紙面に紹介出来ればいいなと思っています。皆様のご投稿を待っています。
安河内真彦(52回生)

* 私達53回生は卒業して50年を迎えました。昭和60年に32回卒業の同窓生が、卒業50周年記念事業を始められ、現在まで続いています。会報によれば、松尾倫太郎(19回生)先輩が最初の奨学生になり、その後「己亥奨学資金」を立ち上げられたこととか、数多くの先輩方の偉大な活躍と母校への支援が会報に掲載されていて感動しました。このように会報は、後になっても読まれる機会が出てきます。伝えたい情報や、原稿、作品等をどしどしお寄せください。今年も宜しくお願いいたします。
藤村みつ(53回生)

* 年3回の福商会報に携わって2年目となりました。会員のご活躍が私にとって励みとなっています。福商会員の方々にさらに「見やすい」会報づくりに今年も頑張ります。
今井 勝彦(57回生)

* 福商会報も新しくなって2年目を迎えました。皆様からはカラー化し、見やすくなった等、お褒めの言葉を戴いており、広報委員の一人としてうれしく思っております。会報は、福商会と会員の方々の、架け橋として大きな役割があります。前号から

(143号)「同舟往來」のページを新設しました。皆様からの寄稿をお待ちしております。これからも「見やすく、分かりやすい」会報を目指して努力したいと思います。
川井 静樹(58回生)

* 今年は我々63回卒業生も還暦を迎えることになりました。サムエルウルマンの詩「青春」にもありますように、いつまでも若々しい気持ちを持ち続け元気でいたいと思っています。「初春に絆強める福商会」
川瀧 哲雄(63回生)

* 広報委員会では「福商会報」を1回発刊するのに毎回、約5回の会議を行います。会議を行う中で同窓生の方々の様々な活躍の情報を知る事ができます。そして、その情報が私にとっての刺激、エネルギーとなります。この感覚を、会員皆様にも伝えたい、伝わって欲しいという想いで活動に取り組んでいます。情報と想いが伝えられるよう今年も頑張ります。
跡部 宗教(79回生)

* 当番幹事が縁で広報委員になり、諸先輩方と一緒に活動させて頂いています。まだまだ学ぶ事ばかりですが、この新たな出会いによって自分自身が豊かになり、発見があることを実感しています。会員の皆様にも出会いの場として会報誌を活用して頂き、又そのお手伝いが出来たらと思います。
枝村 裕子(79回生)

* 広報委員会のメンバーとして参加させていただいたのがちょうど全国合同同窓大会が終わった暑い夏の日でした。当時幹事だった私は、初めてこの大会の素晴らしさを再認識しました。福商会をとおして、いろいろな行事・イベントを体験しました。あらためて福商(福翔)の息吹(熱・意気・力)を感じるこの頃です。
大野 詠子(80回生)